

リデュース 家庭用生ごみ減量化処理機器購入費補助金制度をご活用ください

市では、燃やすごみの減量と資源循環型社会形成の推進を目的に、家庭用生ごみ減量化処理機器購入費補助金制度を実施しています。令和5年度の申請件数は、8月31日時点で82件となっています。補助金の見直しを行った令和4年度の申請件数91件と比較しても、制度を利用する方が増加傾向にあり、年度末の3月前に予算が満額に達する可能性があります。制度を利用して購入を検討している方は、お早めにご利用ください。

用する方が増加傾向にあり、年度末の3月前に予算が満額に達する可能性があります。制度を利用して購入を検討している方は、お早めにご利用ください。



- 市内在住で、新たに生ごみ減量化処理機器を購入し、利用する方
※以前補助を受けた方は、家庭用電動生ごみ処理機および家庭用電動かくはん式生ごみ処理機は購入後5年、生ごみ堆肥化容器は購入後3年を経過した場合に対象となります
- 補助金額 購入金額（本体のみ消費税含む）の50%（100円未満切り捨て）で、割引・配送費等を除いた、購入金額が基準となります
- 補助上限額 ▶家庭用電動生ごみ処理機=30,000円（1台まで）
▶家庭用電動かくはん式生ごみ処理機=18,000円（1台まで）
▶生ごみ堆肥化容器=5,000円（2台まで）

- 申請書配布場所等 50対策課窓口、市ホームページ
- 購入後に、申請書に必要事項を明記し、郵送または直接提出してください。申請時には、申請書のほかに処理機の領収書・取扱説明書の表紙・口座振替依頼書・印鑑が必要となります。なお、申請期限は購入日から90日以内となっています。補助金の申請方法等、詳しくはお問い合わせください



ごみゼロ化推進員大募集！

ごみゼロ化啓発部会 50の減量にかかわりのある啓発活動を企画・実施しています。

事業所部会 事業所にかかわりのあるごみの減量施策を検討・実施しています。

まち美化部会 駅周辺で毎月1回行う清掃活動など、まちの美化やごみの減量にかかわりのあるキャンペーンを実施しています。

50ごみ問題、まちの美化などに関心がある方
活動内容 キャンペーンやイベントへの参加、勉強会や研修会、ごみの分別やごみに関する相談など
報酬 無料

路上禁煙地区清掃活動のようす

リデュース リユース リサイクル SDGsに関する講演会のお知らせ

～サステナブルとSDGsと3Rと～

近年、よく耳にするようになった「サステナブルやSDGsや3R」とは何か、自分たちにできることは何か、一緒に考えてみませんか。第1部は「SDGsでお片付け」、第2部は「現下のごみ処理と資源循環とごみ処事情」をテーマにわかりやすく解説します。ぜひ、お気軽にご参加ください。

10月17日（火）午前10時～正午
所 野川クリーンセンター（東町1-7-19）
50市内在住・在勤の方
定 20人（申込順）
車での来場はご遠慮ください
9月15日から、電話または市申込フォームでごみ対策課減量推進係（☎042-387-9854）へ
市申込フォーム

ごみ減量大作戦！

日ごろから、ごみの減量と資源化にご協力いただきまして、ありがとうございます。外出先での水分補給のため、ペットボトルや缶入り飲料を購入する機会も多いと思いますが、今回はペットボトルや空き缶を捨てる際の注意点についてお知らせします。まず、ペットボトルや空き缶を捨てる際は、中を軽く水洗いしてから出してください。次に、ペットボトルのラベルはできるだけはがしてください。ラベルにミシン目がないなど、はがしにくい場合は無理にはがす必要はありません。はがれたラベルとキャップはプラスチックごみになります。

また、市内のセブン-イレブンの一部店舗にペットボトル回収機を設置しています。回収されたペットボトルはリサイクルされ、新たなペットボトルに生まれ変わります。なお、nanacoカードを使用すると、ペットボトル5本につき、1nanacoポイントがつきます。ぜひご利用ください。

ペットのふんは持ち帰りましょう

市では、市民の良好な生活環境を維持するために、まちをきれいにする条例を制定し、犬・猫のふん害の防止に努めています。しかし、一部の飼い主のマナー違反により、道路をはじめとした公共の場所等にふんが放置されたままとなっています。まちの美化にご協力をお願いします。

飼い主の方へお願い
飼い犬と散歩をするときは、ビニール袋等のふんを拾って入れるためのものを携帯し、犬がふんをしたら必ず持ち帰るようにしてください。マナーを守って犬を飼いましょう。

啓発看板の配布について
ごみ対策課では、犬のふん禁止の看板を窓口で無償配布しています。もし犬のふんの被害でお困りでしたらご利用ください。
※設置については、設置する方の責任でお願いします。通行人がけがをする恐れがあるため、外れたり、風で飛ばされないように管理してください

令和4年度 廃棄物会計 50ごみ・資源物処理経費に総額約23億1,095万4千円

令和4年度のごみ・資源物の処理経費について

()内は対前年増減率

ごみ・資源物処理経費総額	23億1,095万4千円 (3.2%増)	ごみ・資源物処理に係る歳入	6億5,105万9千円 (17.0%減)
ごみ・資源物総排出量	28,235 t (2.3%減)		
市民1人当たり	1万8,510円	1世帯当たり	3万6,789円

※経費総額は廃棄物会計上の数字であり、一般会計決算額とは異なります
※人口124,846人 世帯数62,816世帯は令和4年10月1日時点で計算

ごみ・資源物処理に係る歳入内訳

	令和4年度	令和3年度
家庭系ごみ処理手数料	3億1,722万5千円	3億2,191万9千円
事業系ごみ処理手数料	2,782万4千円	2,809万4千円
自家搬入ごみ処理手数料	7,511万5千円	6,599万4千円
粗大ごみ処理手数料	3,377万2千円	3,379万5千円
可燃・不燃ごみ有価物売却収入	5,344万3千円	4,004万2千円
その他	1億4,368万円	2億9,120万2千円
合計	6億5,105万9千円	7億8,404万6千円

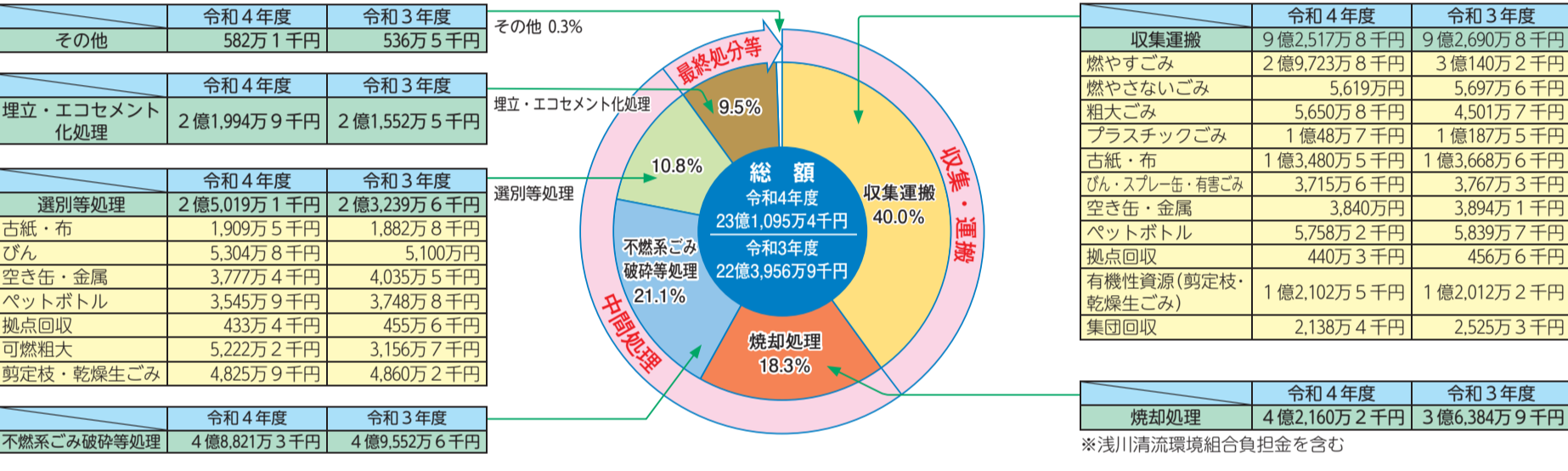
資源化処理にも多額の経費が使われます

資源化処理（資源物の収集、資源物・燃やさないごみ・プラスチックごみなどの資源化）にかかった経費は、約8億2,715万1千円（ごみ・資源物処理経費総額の約35.8%）でした。限りある資源を有効活用するため、資源物を分別することはもちろん大切です。しかし、その処理には多額の経費が使われます。そのことから、まずはごみになるものを元から減らす発生抑制（リデュース）に取り組むことが重要です。

ごみの減量でいちばん大切なことは発生抑制（リデュース）です
リデュースに取り組んだ後に、使えるものは何でも使うリユース、分別して資源として再生利用するリサイクルに取り組むことが大切です。引き続き、発生抑制を最優先としたごみの減量・資源化の推進へのご理解・ご協力をお願いします。

環境基金について

環境基金は、ごみ処理施設の整備や新たなごみ減量施策、環境保全事業の充実などに充当するため設置しています。令和4年度は環境基金に2億2,090万3千円が積み立てられました。内訳は、家庭系ごみ処理手数料収入3億1,722万5千円の約25%に当たる約7,930万6千円、その他一般財源等から約1億4,159万7千円です。



処理するのにどれくらいかかるのかな？

燃やすごみ (1kg)	燃やさないごみ (1kg)	プラスチックごみ (1kg)	古紙・布 (1kg)	びん・スプレー缶 (100g当たり)	缶 (50g)	2ℓペットボトル (75g)
⇨59.8円	⇨206.8円	⇨169.0円	⇨29.5円	⇨9.6円	⇨10.2円	⇨17.2円

夏休み生ごみ投入リサイクル事業の報告

学校の夏休み期間中、市内の小・中学校に設置している電動生ごみ処理機を有効利用するため、夏休み生ごみ投入リサイクル事業を実施しました。今年度の実施校は8校で、猛暑の中、投入管理のボランティア活動にご協力いただいた方は88人、投入延数は1,057人でした。その結果、地域の皆さんの着実な取り組みにより約1.4tの燃やすごみを減量することができました。（右表）

ご参加いただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。

	一小	四小	前原小	緑小	南小	一中	二中	南中	合計
投入日数（日）	6	13	6	6	6	5	5	10	57
投入延数（人）	210	129	158	167	84	168	99	42	1,057
投入総量（kg）	270	100	218	267	171	222	134	37	1,419

食品リサイクル堆肥を無料配布
投入された生ごみは、電動生ごみ処理機で乾燥処理した後、食品リサイクル堆肥に加工され、市民の皆さんに無料配布しています。配布は、毎月第1・第3金曜日午後3時～4時（祝日、年末年始を除く）に、本町暫定庁舎前で行っています。在庫がなくなり次第、配布終了となります。

土曜日に生ごみ投入リサイクルを実施

市内の小・中学校では、毎週土曜日に、学校に設置している電動生ごみ処理機を利用した生ごみ投入リサイクルを、市民の自主的な取り組みとして実施しています。家庭で出る生ごみを投入することができますので、ぜひ、ご利用ください。

また、投入管理のボランティア活動にご協力いただける方を随時募集しています。詳しくは、お問い合わせください。

実施時間・場所	時間	その他
第一小学校	毎週土曜日 午前9時～10時	食用廃油
前原小学校		
緑小学校		
南小学校	毎週土曜日 午前10時～11時	食用廃油
第一中学校		
第二中学校		

投入できる生ごみは、食品廃棄物に限りません。生ごみは、十分に水切りしてから投入してください。天日干ししたものや風で乾燥したものなども投入できます。左表の場所・時間でも食品リサイクル堆肥を無料配布しています

生ごみ処理機への投入のようす